



ふじさわ体協

「藤沢市体育協会広報」第9号

発行日 昭和63年7月1日
発行編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172秋葉台文化体育館内



「私とスポーツ」

藤沢市長 葉山 峻

今年も湘南海岸でビーチバレーが

開かれる。カリフォルニアやリオデジャネイロ、地中海沿岸など太陽があふれる砂浜の海岸で始まったビーチバレーは、今や世界各国で盛んになっている。熱い砂浜の上をコート狭しとボールを拾い、アタックするこの二人制バレーボールは激しいスポーツである。ロサンゼルスオリンピックで金メダルをとったアメリカの男子バレーチームの選手は、カリフォルニアの砂浜のビーチバレー育ちの選手が多いそうである。夏の真っ盛りをめぐるような青空のもと、富士山をバックに高くジャンプする選手の姿は、夏にふさわしい絵となるだろう。

昨年の一回目に続いて開かれるこの大会は、全日本を代表する人気選手が大勢参加するが、真夏の湘南海岸を彩る催しとして定着し、市民の皆さんに親しまれてほしい。

湘南で始まったといえば、若者のマリンスポーツ、サーフィンも湘南

海岸から生まれた。

戦前の湘南ボーイは、洗濯板をサーフボード代りにして遊んだものだった。もっとも今のサーフィンと違い板に腹這いになったままだった。私は当時人気のあった漫画の主人公フクチャンの絵などを洗濯板に書き込み、波乗りを楽しんだ。現代がサーフィンの黄金時代なら第一期黄金時代は、昭和十年代であったとも言えようか。

ライフスタイルが変化し、余暇時間が増えつつある今、家族みんなが何がしかのスポーツにふれあっている。我が家の二人の子供たちもスポーツに忙しい。高校二年の娘はテニス、中学三年の息子はラクビーである。私はたまの休みになると妻や友人達とテニスをする。私はスポーツにしろ、何にしろ、大勢の友人とワイワイガヤガヤやるのが好きである。だから、一人でジョギングなどはとてもできないが走るのなら犬とでもよいから一緒に走りたい。友人の一

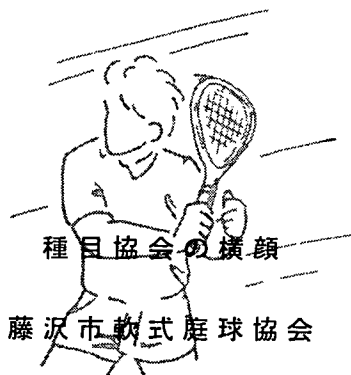
人で作家の宮原昭夫さんに言わせると、私は何でもコミュニケーションに結びつけるタイプの人間だという。

テニスは、コートの大きさもそれほどでなく私たちにとってはちょうどよい運動ができる。汗だくになって、コートを駆け廻ったあとの爽快さは、本当にいい。今では娘とゲームをすればスピードとゲーム運びで敗けてしまう。テニスを始めたのは十数年前だがその間に追い越されてしまった。若い芽が育っていくのははやい。

藤沢では、少年からお年寄りまで本当にスポーツが盛んになった。少年野球やサッカー、ママさんバレーやテニス、早朝野球そしてゲートボール、又各地区では小学校の体育館やグラウンドを利用していろいろなスポーツ大会が開かれ、市民の親睦が深まっている。そこでは、地区の社体協を中心とした市民の人たちのボランティアな活動が活発である。

二十一世紀を迎え、高齢化社会が迫っている現在、健康の維持と増進をはかることは重要な課題である。

地域の市民のコミュニティをはぐくみ、地域の街角からスポーツができるようにするために、藤沢市体育協会や、各地区社会体育協議会など体育・スポーツ関係者の果たす役割は、ますます大きくなるであろう。



藤沢軟式庭球協会は、藤沢市体育連盟創立と同時に会が発足し、同連盟に加入いたしました。

このころの協会の活動といえば、市内の高校のテニスコートを転々と借用しながら競技大会を開催してありました。当時の参加者は、高校のOB会や企業のクラブが中心であり、県代表としてもかなり多くのチームが中央大会に参加しておりました。

昭和四十年代中頃から、市教育委員会主催の軟式庭球教室が開催され、家庭婦人を中心に底辺の拡大を図るとともに生涯スポーツとしての軟式庭球の位置づけが、ある程度確立されるようになりました。

現在では、市営のテニスコートを

中心に競技大会を開催しておりますが、参加者については、高校のOB会企業のクラブ、そして地域の家庭婦人を中心としたサークル、又地域にある一〜二面のテニスコートを活動の拠点としたサークルなど登録団体も様々になり、数も急増しております。

軟式庭球の普及発展を図るために秋葉台文化体育館や秩父宮記念体育館で開催されているスポーツ教室に指導者を派遣している一方、競技としての軟式庭球については、年間七大会を開催し選手の強化を図っています。

年令別、技量別に幅広く参加しやすいように工夫して競技大会を開催しておりますが、なにごんにもテニスコート数が少なく思うような活動ができていないのが現状です。

市営のコートを優先確保していただくなかで競技大会を開催し、優秀な成績をおさめた選手により、二月中旬に秋葉台文化体育館において、その年度の総まとめとしてのインドア大会を開催しております。

このインドア大会において、中学生を対象に軟式庭球教室を開催し、中学生の軟式庭球に対する愛好心や、技量の向上を図っています。

最近、当協会の登録選手の活躍は目ざましいものがあります。

優秀な指導者のもと、六会中学校が全国優勝を果たし、藤沢市スポーツ賞を受賞しました。又、国民体育大会の県代表選手や、全日本実業団大会に出場したり、各中央大会に県代表として多くの選手を送り出せるようになりまし。

今後とも更に優秀な選手、指導者を育成しながら軟式庭球のもつ大衆性を活かし、生涯スポーツとして、皆さんに喜んでいただけるよう、協会運営に努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくご指導のほど、



お願いいたします。
なお、今年度（六十四年二月頃）秋葉台文化体育館において、全日本級の選手によるインドア大会が、開催される予定になっております。

昭和63年度軟式庭球協会登録状況

チーム数	十九チーム
登録者数	男 二百十人
	女 二百七十八人
合計	四百八十八人

《》《》《》《》《》 賛助会員募集のお願い

昨年度は本体協賛会員制度の趣旨をご理解いただき、多くの皆様方にご入会いただき誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。
本年度は四年目に入り新たな企画をを考えまして、入会いただきまし た方々にテレフオンカードをお贈りすることにいたしました。

是非、皆様のご支援、ご理解を賜り引き続き賛助会にご加入くださいますようお願い申し上げます。

昭和62年度 藤沢市体育協会事業実績報告書

月・日	事業名	月・日	事業名
62. 4. 23	第1回理事会 第1回評議員会	63. 1. 20	体育協会表彰選考委員会
5. 16	相模原市体育協会視察	2. 4	第4回理事会
6. 9	第1回常任理事会	2. 13	第3回スポーツ人の集い 藤沢スポーツ賞受賞者 橋川美紀・生駒日登美・宮本功三・青池優美 河合雅世・平井由規子 武田薬品女子卓球部 御所見中学女子卓球部 県総体男子バレーボールチーム
6. 30	広報紙第6号発行		講演会 「私の野球人生」 日本ハム球団常務 大沢啓二氏
7. 9	第2回理事会	3. 15	第3回常任理事会
7.24~26	補助金交付	3. 31	広報紙第8号発行
8.28~30	国民体育大会関東ブロック大会視察(茨城県)		第42回藤沢市民総合体育大会総参加者数 10,511人 地区対抗競技参加者数 3,387人 オープン競技参加者数 7,124人 総合優勝 大庭地区 第2位 高の沢地区 第3位 天神地区
9. 4	藤沢市体力づくり運動推進功労者表彰 杉山保(空手) 白井重昌(柔道) 遠藤晋司(野球) 長谷川正忠(バスケ) 永淵泰清(ラクビー) 橋本幸雄(剣道) 石塚妙子(バレー) 川島尚二(陸上) 藤田佳也(テニス) 石井幸夫(射撃) 脇田文雄(軟庭) 以上11名		昭和62年度神奈川県総合体育大会 ◎一般の部 夏季大会 ソフトボール・軟式庭球・水泳 秋季大会 陸上・バレーボール・剣道・柔道・弓道・卓球・ クレ射撃・軟式野球・バドミントン・バスケッ トボール・サッカー 冬季大会 スキー 総合成績 参加26チーム中第5位 ◎青年の部 バドミントン・バスケッボール・卓球・弓道・ 剣道・柔道・バレーボール・陸上
10. 1	藤沢市表彰条例に基づく表彰 齊藤 芳助(野球) 大原 晴夫(バスケ) 上笹 秀雄(射撃) 以上3名		
10. 6	第2回常任理事会		
10.26~28	第42回国民体育大会視察(沖縄県)		
11. 3	藤沢市教育文化貢献者表彰 関水和清(柔道) 浅場篤夫(野球) 青山昌陽 (陸上) 荒井勝夫(バレー) 根本信良(空手) 以上5名		
11. 30	広報紙第7号発行		
12. 15	第3回理事会		

昭和62年度 藤沢市体育協会収支決算報告書

1. 収入の部

(単位 円)

項目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増減	摘要
体協費	12,130,000	0	12,130,000	12,103,922	△ 26,078	
体協費	12,130,000	0	12,130,000	12,103,922	△ 26,078	
補助金	3,510,000	0	3,510,000	3,510,000	0	
委託料	6,368,000	0	6,368,000	6,368,000	0	
賛助会費	1,000,000	0	1,000,000	979,000	△ 21,000	個人153口 団体52口
負担金	968,000	0	968,000	968,600	600	
繰越金	269,000	0	269,000	269,000	0	前年度繰越金
雑収入	14,539	0	14,539	8861	5,678	預金利子等

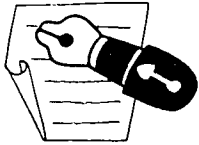
2. 支出の部

(単位 円)

項目	予算額	補正・流用額	予算現額	執行済額	執行残額	摘要
体協費	12,130,000	0	12,130,000	11,654,908	475,092	
運営費	12,130,000	0	12,130,000	11,654,908	475,092	
事務局費	1,598,000	0	1,598,000	1,448,020	149,980	
事業費	10,123,000	0	10,123,000	9,806,888	316,112	
積立金	400,000	0	400,000	400,000	0	積立金合計 1,604,225
予備費	9,000	0	9,000	0	9,000	

1. 収入の部	予算額	12,130,000	決算額	12,103,922
2. 支出の部		12,130,000		11,654,908
3. 差引額			差引残額	449,014

昭和63年度 藤沢市体育協会事業計画書

月	主 催 事 業	他団体主催事業	月	主 催 事 業	他団体主催事業
4	理事会・評議員会 27 市民総体打ち合せ 20		10	国民体育大会視察 15~20 市民総体 空手 23	国民体育大会 秋季大会 15~20 藤沢市表彰条例に基づく 表彰 1
5	横浜市体育協会視察 14 賛助会員募集開始 市民総体予選 ソフトボール15~6/19		11	常任理事会 広報紙発行	教育文化貢献者表彰 3
6	常任理事会 広報紙発行 市民総体予選 軟式野球 19~7/24		12	理 事 会 市民総体 ハンドボール24・25・27	市内駅伝大会 4
7	理 事 会 市 民 総 体 バスケットボール 10. 17. 24	ビーチバレー 21 ~ 24	1	常任理事会 市民総体 スキー 未定	三浦半島駅伝 未定 国民体育大会 スケート 28~31
8	弓 道 17 バレーボール予選 31 山 岳 22. 23. 24		2	理 事 会 スポーツ人の集い 18	郡市対抗駅伝 未定 国民体育大会 スキー 19~22 県総体冬季大会 未定
8	補助金交付 市民総体 サッカー 14~9/10 テニス 20~9/11 体 操 14 射 撃 21 バトミントン予選 14	国民関東ブロック大会 26~29 県総体夏季大会 ソフトボール 14・21 軟式庭球 21 水 泳 21	3	常任理事会 広報紙発行	市民スポーツ フェスティバル 12
9	常任理事会 市民総体本大会 4 陸上・卓球・軟式庭 球・バレーボール・バ トミントン・軟式野球・ ソフトボール・弓道・ラ クビー・剣道 23	国民体育大会(夏季) 4~7 県総体秋季大会 18・25 体力つくり運動功労者 表彰 4 ふじさわワーク 88 11	<p>本年度も上記のように事業を計画いたしました。 皆様方の暖かいご協力を載せ、藤沢市体育協会が 更に大きく発展できますよう、よろしく願ひいた します。</p> 		

1. 収入の部

項 目	予 算 額
体 協 費	12,495,000
体 協 費	12,495,000
補 助 金	3,510,000
委 託 料	6,520,000
賛 助 会 費	1,000,000
負 担 金	1,005,000
繰 越 金	449,014
雑 収 入	10,986

2. 支出の部

項 目	予 算 額
体 協 費	12,495,000
運 営 費	12,495,000
事 務 局 費	1,789,000
事 業 費	10,295,000
積 立 金	400,000
予 備 費	11,000

(単位 円)

お知らせ

国体、関東ブロック大会はスポーツを振興し地域住民の健康と体力の向上をはかるとともに、スポーツの交流を通じて各都県間の親睦と友誼を深め併せて地方文化の発展に寄与する事を目的として神奈川県内各市に於て開催されることになりました。

藤沢市も別記日程により、熱戦が繰り広げられますので皆様方のあたたいご声援をお願い致します。

- ▲サッカー競技▽
期 日 8/27(出) ~ 8/29(月)
会 場 県立体育センターサッカー場
- ▲バレーボール競技▽
期 日 8/27(出) ~ 8/28(日)
会 場 藤沢市秋葉台公園球技場
- ▲ボクシング競技▽
期 日 8/27(出) ~ 8/29(月)
会 場 秩父宮記念体育館
- ▲フエンスシング競技▽
期 日 8/27(出) ~ 8/28(日)
会 場 県立体育センター第一・二練習場

※ 詳しくは、藤沢市秋葉台文化体育館内藤沢市体育協会 88-1-1-1まで